



レッド・プラネット・ジャパン、タイのホテル事業を買収 ～ポートフォリオは一層拡大へ～

即時リリース

2019年1月30日

東京一株式会社レッド・プラネット・ジャパン（証券コード：3350）は、本日、親会社であるレッド・プラネット・ホテルズ・リミテッドからタイを拠点とするホテル事業を買収することを発表しました。買収手続は、2019年第一四半期中に完了する予定です。

レッド・プラネット・ジャパンは、親会社から、買収価格総額6,585,130,000円でタイにホテルを所有する6法人を買収します。この買収による取得資産には、スラウォン（バンコク）、パトン（プーケット）、アソーク（バンコク）、パタヤ、ハートヤイにて営業中のホテル5棟およびスクンビット ソイ8（バンコク）に建設中の6棟目のホテルが含まれます。前述5棟のホテルの2017年度合計売上は692,960,064円相当であり、2018年度は787,122,058円に達する見込みです。

この買収の結果、レッド・プラネット・ジャパンのポートフォリオは、開発中の5棟を含め合計15棟（所在地：日本、タイ、フィリピン）に増加することとなります。

「レッド・プラネット・ジャパンがアジア地域におけるホテル事業の著しい拡大を発表できることは、大変光栄です。日本とその他のアジア諸国間における観光産業は、特にレッド・プラネットの顧客ベースの中核であるミレニアム世代の間で、持続的に増加しています。この買収により、当社の地理的事業範囲が広がり、その中でも特に日本を訪問するインバウンド旅行者が所在する主要な市場への参入が可能となります」とレッド・プラネット・ジャパンのCEOであるティム・ハンシングは述べています。

近年、格安航空会社路線の拡大や入国ビザの緩和が進み、日本文化に対する親しみがさらに深まる中、東南アジア、特にタイから日本への旅行者は大幅に増加しています。タイから日本を訪れる旅行者は、この5年間で2倍を超える増加を遂げ、2018年には113万人を超える見込みです。日本からタイへの旅行者も急増しており、2016年に140万人、2017年には150万人を、2018年には160万人を越えました。

2020年夏に予定するレッドプラネット広島流川の開業、2018年6月に発表したマニラにおける2件の旗艦アセットの取得、および、日本で5棟目の急成長するレッドプラネット札幌すすきの南の2018年6月開業など、レッド・プラネット・ジャパンは近年、事業拡大案を相次いで発表しており、今般のタイのホテルの買収はこれら一連の事業拡大案に続くものです。また、2019年10月には札幌の2棟目となるレッドプラネット札幌すすきの中央を開業予定です。

レッド・プラネット・ジャパンの会長であるサイモン・ゲロヴィッチは、次の様に述べています。「今回の買収により、アジアのバジェットホテル業界において、レッド・プラネット・ジャパンは、日本、フィリピン、タイに足場を持つ地域のリーダーとして位置付けられることとなります。こうしたホテル網の拡大は、規模の経済による収益と利

益率の向上をもたらすのみならず、アジア地域で私たちが築いたホテル事業運営ノウハウをはっきり示すものです。また、最近発表された、今後2年間で6棟の新規ホテルへの最大220億円の投資を可能とする合弁事業が証明するように、私たちは、フランチャイズや経営契約、既存市場と新規市場の両方における合弁事業などの新たな成長要因を引き付ける規模を携えています。」

#

本件の詳細又は高解像度写真については、下記までご連絡ください。

ジェームズ ホリラック

グループ・インベスターリレーションズ・ディレクター

レッド・プラネット・ホテルズ

電話：+81 (50) 5835 2066

携帯電話：+81 809 1267365

E-mail: james@redplanethotels.com

Media Enquiries

Brett Wallbutton

Ashton Consulting

Tel: +81 3 5425 7220

E-mail: b.wallbutton@ashton.jp

株式会社レッド・プラネット・ジャパンについて

株式会社レッド・プラネット・ジャパンは、バンコクを本拠点とするレッド・プラネット・ホテルズ・リミテッドの日本におけるオペレーションを担う、JASDAQ市場の上場企業です（証券コード：3350）。2013年8月レッドプラネット沖縄那覇の開業を皮切りに日本での営業を開始、続けて2015年にレッドプラネット東京浅草、2017年10月にレッドプラネット名古屋錦、2018年6月にレッド・プラネットは札幌における1番目のホテルであるレッドプラネット札幌すすきの南を開業しました。さらに、レッドプラネット札幌中央を2019年までに、レッドプラネット広島流川を2020年までに開業する予定です。また、新たな合弁事業を通じ、2019年中頃までに、さらに5箇所のホテル用地の取得を予定しています。レッド・プラネット・ジャパンは、また、フィリピンのマニラにも開発用地を取得済みであり、2020年までに2棟のホテルを順次開業予定です。レッド・プラネット・ジャパンは、東京証券取引所（証券コード：3350）に上場しています。

レッド・プラネット・ホテルズについて

レッド・プラネット・ホテルズは、2010年に設立され、アジアの拡大するバジェットホテル業界に重点を置いた非上場のホテル会社です。インドネシア（7）、日本（5）、フィリピン（13）、タイ（5）に30のホテル、合計4,779の客室を所有、運営しています。さらに、2019年と2020年に、2,669の客室からなるホテル14棟を、日本、タイ、およびフィリピンで開業予定です。これらのホテルは、レッドプラネットの堅牢でスケラブルなテクノロジープラットフォームを使用して開設され、先進的な予約ソフトウェアによる迅速・効率的な予約プロセスと顧客のための現地アトラクションガイドを提供します。レッドプラネットのホテルはスタイリッシュなバジェットホテル設備により構成され、全ホテルが中心部に位置し高速Wi-Fiを備えています。ジャカルタにおける子会社（レッド・プラネット・インドネシア - PSKT : IJ）および東京における子会社（レッド・プラネット・ジャパン - 3350 : JP）は、それぞれインドネシアおよび日本の証券取引所に上場しています。詳細についてはウェブサイトwww.redplanethotels.comをご覧ください。